

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	三島 進	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
1 都市計画税のあり方について	<p>(1) 受益者負担の税制改革</p> <p>ア 基盤整備の恩恵を受けているのに、これまで受益者としての負担をしてこなかった調整区域内の団地や緩和区域に住む住民に応分の負担をしてもらうための制度改正を早期議論すべきではないでしょうか。伺います。</p> <p>(2) 課税対象が増えた場合の税収は</p> <p>ア 新たにこれらの区域を課税対象とした場合、どの程度増収が見込めるか、現時点の推計値について伺います。</p> <p>(3) 人口減少対策について</p> <p>ア 集落を守るために全てのインフラ整備が出来ている地域を無駄にすることなく生まれ育った地域に住み続けていく為に、農地法に縛られないで現在の農業を守り、自由な発想で活動できる環境づくりが出来れば人口減少対策や地域の伝統事業の継承も出来るのではないのでしょうか。考えがあればお聞かせください。</p>				
2 地産地消の推進について	<p>(1) 農業生産者の生産体制の確立について市長の見解を求めます。</p> <p>ア 農産物の消費ニーズ調査を行うべきでは</p> <p>イ 野菜類の生産計画の作成</p> <p>ウ 契約栽培等、生産側と消費者側の調整 (市、JA 等)</p> <p>(2) 就農者、農業参入企業への支援について市長の見解を求めます。</p> <p>ア スマート農業の導入、農業の工業化・事業化</p> <p>イ 総合的支援 (市・JA 指導と財政支援制度の確立)</p> <p>(3) 区域区分としては</p> <p>農業に必要な農地を特定することで、農業以外の分野で活用できる都市基盤が整備済の土地を明示することが出来ると思います。考えをお聞かせください。</p> <p>(4) 民間活動について</p> <p>農業振興地域やその他のまちづくりに資する開発可能地域を示し、まちづくりの大きな方針、ビジョンを示すことで民間活力の導入がより進むと考えますが併せて市長の見解を伺います。</p>				
3 景観条例の見直し状況について	<p>(1) 高層ビル、マンション等の建築、条例の見直しについて</p> <p>ア 3つの景観ゾーンと2つの景観軸から条例が設定されていますが、条例制定後どのような見直しがなされたか伺います。特に湖畔ゾーンのうち、宍道湖湖岸周辺の見直しはしてあるか伺います。</p> <p>イ 宍道湖周辺を含め市街地には 35m~66m を超えるマンション等が数棟計画されていますが、その高さや景観に対する指導を含めての対応はしてあるか伺います。</p>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	三島 進	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
4 高層マンションに対する課税について	<p>(1) マンション等は 1 階と最上階とは同面積であっても販売価格が異なっていますが課税はどのようになっていますか。また今後の課税、評価額を見直す考えはあるか伺います。</p> <p>(2) 高層マンションの耐用年数後の対応について</p> <p>最近の気象状況は想定外の事が発生しています。耐震等、特に高層建築物においては心配であります。古い建築物はいずれ耐用年数が到来し、解体工事には多額の費用が必要となりますが、解体保険 (仮称) などの条例のようなものは考えることは出来ないか伺います。</p>				
5 玉湯まがたま学園整備について	<p>(1) 玉造温泉は観光旅館街であります。その風情にあった木造校舎とのことであり、屋根は日本風の瓦敷きが良いと思いますので検討をお願いしたいが見解を伺います。</p> <p>(2) 温泉地でもありますので、温水プールを作って頂きたいと思います。泳ぎは幼い時に身につけることが重要と思いますし、温水であれば近隣の小中学校が年間を通して授業に盛り込むことが可能となりますが考えをお聞かせください。</p>				
6 保育施設のあり方について	<p>(1) 現時点での保育所待機児童の状況</p> <p>(2) 地域別での待機児童の状況</p> <p>(3) 今後の保育所入所のニーズについての考え (地域別に考査)</p> <p>(4) 今後の保育所施設の認可の考えはいかがか。</p> <p>ア 申請があれば地域等関係なく認可されるのか。</p> <p>(5) 保育所が濫立した場合、将来的にそれぞれの経営を圧迫していくものと思われませんが、それに規制をかける方法はないのか、市として規制をする考えはないのか伺います。</p>				
7 自転車損害保険加入について	<p>(1) 自転車も自動車同様に道路交通法に則って交通ルールが適用されます。また自転車にも点検が義務化されています。</p> <p>しかし実情は点検を受ける人は少なく、自転車の故障や修理時に店頭にて指摘があれば点検や保険加入されていますが、大多数が無保険であります。</p> <p>自転車に関する事故は年々増加しており、その補償額も増加傾向にあります。</p> <p>これを考慮すると条例等で義務化することが望ましいと思いますが、考えがあれば伺います。</p>				

順序	議員名	野津 照雄	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
1 中期防衛力整備計画 (平成 31)	<p>(1) 中期防衛力整備計画での要望について</p> <p>ア 最近の北朝鮮によるミサイル開発、発射実験、核実験、水爆開発等への対応策の必要性</p>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	野津 照雄	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
年度～) に於ける本市の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ レーダー更新、PAC3 常備配備について</li> <li>(2) 基地交付金について</li> <li>(3) 特定防衛施設周辺整備調整交付金について</li> </ul>				
2 防災訓練と Jアラートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 防災避難訓練と Jアラート不具合について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 北朝鮮からのミサイル攻撃想定 of 避難訓練、Jアラート不具合について</li> <li>イ 島根原発での事故想定</li> <li>ウ 地震・暴風雨想定</li> </ul> </li> </ul>				
3 平成 28 年度補正事業の進捗状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 28 年度 2 月補正事業の進捗状況について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 水上飛行機推進事業 (フライト実績と各種機関の評価、今後の計画)</li> <li>イ 消防本部庁舎整備事業</li> <li>ウ 保育所施設整備事業 (私立保育所)</li> </ul> </li> </ul>				
4 大橋川改修事業の進捗状況、宍道湖水辺の利活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 29 年度事業の進捗状況について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 朝酌町矢田地区の多賀神社、魚見塚古墳、古代道路、菖蒲谷遺跡等、文化財調査と計画道路について (道路の設計変更、工期の影響)</li> <li>イ 漁船係留場所の状況 (剣先川)</li> <li>ウ 松崎島、六区</li> </ul> </li> <li>(2) 宍道湖畔、大橋川の利活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア ミズベリング縁日について</li> <li>イ 矢田渡船 (多賀丸) 活用</li> </ul> </li> </ul>				
5 全国シジミ・シンポジウムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 7 回開催 (11 月 18 日から 19 日)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 内容、規模、主催、(松江市の協力計画)</li> <li>イ 網走湖、るもい、十三湖等々、シジミ産地の漁獲量、状況、特徴、課題 (問題)</li> </ul> </li> </ul>				
6 松江城山稲荷神社式年神幸祭 (ホーランエンヤ) について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ホーランエンヤ斎行の準備状況について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 準備事務局の内容、進捗状況</li> <li>イ 奉賛会、協賛会</li> </ul> </li> <li>(2) 五大地 (権伝馬船参加地区)、東出雲の依頼 (要望) 事項への対応について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 企業、会社、公社等への協力、雇用問題</li> <li>イ 助成、伝馬船新造要望</li> </ul> </li> <li>(3) 小学校生徒 (6 年生) 伝承館訪問、教育について</li> </ul>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	長谷川 修二	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目		質問要旨			
1	市内小中学校の普通教室へのエアコンの導入について	(1) 業務用エアコンと家庭用エアコンを導入する場合のそれぞれの費用対効果の研究結果は。 (2) 選ばれる松江市として、未来への投資の柱として、市内小中学校の普通教室へのエアコンの導入を決断されてはいかがか。			
2	ふるさと教育について	(1) 都市部からの U・I ターンを促進するための、東京と松江市の暮らしを対比させた、松江市独自のチラシを作成してはどうか。 (2) 市内の小中高校生に松江市独自チラシ等を用い、ふるさとの良さをアピールしてはいかがか。			
3	U・I ターンしてきた、またはする希望のある若者への優遇策について	(1) 都市部より U・I ターンしてきた、またはする希望のある若者への、生活を再建させ安定化させるための優遇策の現状とその効果はいかがか。			
4	財政について	(1) 中核市へ移行するにあたっての中期財政計画の再構築と、今後の財政運営の目標とする指標について伺う。 (2) 普通建設費の安定的な確保と、年度初めの発注について伺う。			
5	ごみ集積について	(1) 移動式の小規模な単位でのごみ集積ボックスの導入について伺う。			
6	路線バス利用の利便性向上と利用促進策について	(1) JR 松江駅北口にバス交通の総合案内板を設置してはどうか。 (2) 市内の路線バスの利用促進のための、日帰り観光パックの導入について伺う。 (3) バス停留所の整備についての現状と課題、今後の整備に対する考え方について伺う。			
7	バス運転手の処遇改善と採用について	(1) バス運転手の勤務体制の改善状況はいかがか。 (2) バス運転手の採用について、例えば退官した自衛官等を採用してはいかがか。			

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
1 2009 (平成 21) 年 3 月の島根原子力発電所 2 号機プルサーマル計画の了解について	<p>(1) 2011 年 3 月の福島原発事故後の「了解」の取り扱いについて 「了解」後に発生した福島原発事故を受けて、「了解」の再検討、または、「了解」に対する市民の意思の再確認を行った経緯があるかどうか伺う。</p> <p>(2) 現在の市民の意思の反映について 「了解」に対する市民の福島原発事故以前の意思と、福島原発事故を経験した上での市民の現在の意思は大きく変わり、プルサーマル発電も核燃料サイクルも受け入れないというのが市民の多数の意思だと考える。少なくとも市民の現在の意思を、改めて問う必要があると考えるが、市長の見解を伺う。</p>				
2 2017 年 7 月 25 日未明の大雨被害について	<p>(1) 降雨の状況と被害の実態について ア 降雨の状況と被害の実態をどのようにとらえているか伺う。 イ 自家用車の被害について、実態をどうとらえているか伺う。 ウ 黒田町西原地区の被害の原因をどう考えているか伺う。 エ 床上あるいは床下浸水で出たゴミの始末について、住民が行うか、行政が行うかの判断基準を伺う。 オ このゴミの始末について、実態に合わせた柔軟な対応が必要ではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 根本的な対策について ア 宍道湖水位上昇で市の広範囲が災害を受けるケースではなく、市の一部に短時間、集中的に雨が降ることによる今回のような局所的な水害に対する根本的な対策を伺う。 イ 実際の災害に学び、同様の降雨によって、同様の地域に被害が出ないようにする為、その都度必要な対策を打つことが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 当面の対策について 今回と同じ範囲に同じ程度の雨が降っても、黒田町西原地区に対し、同様の被害が出ないための、当面の対策について伺う。 住民の意見を集約し、行政に反映させていくこと、次の大雨までにはできることはするという市長の決意をお聞かせいただきたい。</p>				
3 子どもの実態と条件整備について	<p>(1) 特別支援学級に所属してはいないが、板書を写すのが不得意だったり、教師の指示を聴きとるのが不得意だったりする子どもたちにもよくわかる授業の実践と教育行政の支援について ア 現状について伺う。 (i) 現状をどのように認識しているか伺う。 (ii) 学校での優れた実践例、または、教育委員会の支援の例について伺う。 (iii) 学校からの悩み相談の件数、それに対する支援体制の現状について伺う。</p>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
3 子どもの実態と条件整備について	<p>イ 支援体制の強化について伺う。</p> <p>職員増による支援体制の強化、せめて、報告事務などの実務が集中する時期への支援体制を検討する必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>ウ エアコン設置について伺う。</p> <p>普通教室へのエアコン設置は、それぞれの子どもの得意・不得意にかかわらず、どの子どもも授業に集中するために重要で、この点から、積極的に予算措置をすべきと考える。</p> <p>(i) 普通教室へのエアコン設置に必要な予算額、及び設置の見通しについて伺う。</p> <p>(ii) 国からの補助の要件、たとえば、補助を受けるための事業費の額等の要件について伺う。</p> <p>(iii) 補助要件緩和による補助金額増額に向けた取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 通学路危険箇所について</p> <p>ア 現状について伺う。</p> <p>2017 年 5 月 31 日締め切りで報告された、通学路の危険箇所の実態、および、昨年度 1 年間で改善された箇所の数を伺う。</p> <p>イ 担当体制の強化について伺う。</p> <p>通学路危険箇所の集約を行う事務局は、生徒指導推進室が担当しているが、集約実務が集中する 5・6 月は、5 月連休明けで生徒指導を要する相談が増える時期であり、事務補助等の体制強化が必要と考えるが、見解を伺う。</p>				
4 教育内容について	<p>(1) 全国学力調査について</p> <p>ア 文部科学省が、全国学力調査平均正答率の公表を今年から四捨五入して行った趣旨は何か伺う。</p> <p>イ 平均正答率は、20 問前後の問題数の学力調査の結果の差を、過大に見せる結果となっていることを文科省自身が認めたものであり、全問題数の内、何問できたかをみれば、全国の自治体にほとんど差はなく、毎年の全数調査に 60 億円もの巨費を投ずる意味はないと考えるが、見解を伺う。</p> <p>ウ どの子どもにもわかる授業をするために、同じ日に、同じ問題で、全国の子どもを競争させる必要はない。違うときに、違う聞き方で聞いたら、できていたかもしれない子どもがいたはずであり、それこそ松江市の教育が大切にすべき、どの子どもも伸ばす教育だと考える。全国学力調査への参加をやめ、それぞれの学校で、それぞれの子どもに合った時期に、合った方法で指導することにこそ力を注ぐべきと考えるが、見解を伺う。</p>				
5 教職員の労働条件について	<p>(1) 教職員の超過勤務の実態把握と対応について</p> <p>教職員の超過勤務の実態把握に関して、現在の取り組み状況と今後の取り組みの見通しを伺う。</p>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	10	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月12日
質問項目	質問要旨					
5 教職員の労働条件について	<p>(2) 労働安全衛生委員会・懇話会について</p> <p>ア 教職員の労働安全衛生委員会・懇話会で出された課題を集約し、検討し、方針を出す場が現在設置されているかどうか、ない場合は設置が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>イ 各学校の労働安全衛生委員会・懇話会には、年一度は医師の参加が望ましく、全体の課題を集約する場には、医師の参加が不可欠と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 教育職員の超過勤務をめぐる法令上の制度の現状と課題について、給特法（昭和 46 年）の制定以来、教育職員に超過勤務を命じることができるのは、県給特条例第 5 条 2 の超過勤務限定 4 項目に限られ、一律給与月額 4 % の教職調整額が全員に支給されるが、超過勤務手当は支給されないという制度が現在まで続いている。</p> <p>教育職員の状況は、毎日 15 分程度の超過勤務手当に相当する教職調整額を全員一律受け取るが、限定 4 項目以外の超過勤務が日常当たり前となっており、しかも、どれだけ超過勤務をしている教育職員も、超過勤務手当は全く受け取っていない実態が 50 年近く続いている。</p> <p>超過勤務をさせても、超過勤務手当を予算計上しなくてよい今の制度が、安易に超過勤務を容認する学校の現状をもたらしていると考えます。</p> <p>超過勤務の実態を把握された際、その超過勤務に正当に手当を支払ったら、一体いくらの支出が必要だったのかも含めて計算して見ていただきたい。</p> <p>手当がもらえれば超過勤務してもよいということではなく、法令の通り、毎日 15 分程度の教職調整額に見合う内容に教育職員の仕事を縮減していただきたい。</p> <p>そして、超過勤務限定 4 項目以外の仕事でどうしても超過勤務を命じる場合は、正当な超過勤務手当を支払う制度とすることで、無制限な超過勤務命令が抑制されるのではないかと考える。</p> <p>今後の課題として申し述べたが、教育長の考えを伺う。</p>					
6 災害時の公衆電話活用に関する市民からの要望について	<p>(1) 災害時につながりやすい連絡手段として、避難所への公衆電話の設置が必要と考えるが、現状と課題について伺う。</p>					

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	宅野 賢治	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
1 松江市の業務改革の取り組み	<p>(1) 業務改革のトップランナーとしての取り組みについて</p> <p>ア 総務省の「地方行政サービス改革の取組状況等に関する調査結果」をもとに日本経済新聞社の日経グローバル誌が独自に点数化し、民間委託、指定管理者、窓口業務、庶務集約化、クラウド化の項目の全てにおいて、高い得点で松江市は業務改革の全国トップとなった。</p> <p>そこで、業務改革のトップランナーとして全国一となった所感を伺う。</p> <p>イ 松江市職員数の検証と今後の適正な人員計画について</p> <p>(i) 労使間交渉もあり、人員削減のみ注視するのではなく、行政サービスの提供に必要な正規職員数の職種と人員数も含め、嘱託・臨時職員数が妥当なのか。適正な人員確保と配置及び職務内容について、定員管理診断に基づき人員の超過部門の分析など含め、検証がされているのか伺う。</p> <p>(ii) 中核市移行等による人員増計画も踏まえながら、松江市は中長期的に正規職員、臨時職員数の今後の適正な人員計画をどのように考え、定員適正化計画の策定、中長期的な視野に立っての定員の適正管理を効果的に推進しているのか、今後の人員計画も含め伺う。</p> <p>ウ 人件費削減のみに限らず、アウトソーシング、公共施設管理、受益者負担の適正化など様々なあるが、今後、弱い部門や新たな取り組みの活用も含め、これから業務改革をどのような点をポイントにして更に推進し、取り組む考えなのか決意も含め伺う。</p>				
1 松江市の業務改革の取り組み	<p>(1) AI (人工知能) の活用推進について</p> <p>AI (人工知能) の活用推進は、マスコミ・テレビ等でも話題になっており、少しずつ地方自治体においても始まってきた。</p> <p>松江市でも、地域公共交通において超高齢化等が進行する地域に AI を活用した無人自動運転走行による移動サービスを走行エリア限定領域内での可能性など、AI (人工知能) の活用も検討していくことは必要であると考えが所見を伺う。</p> <p>AI (人工知能) の技術を、様々な分野で松江市も活用し効率化していくべき時代の波が来ているようにも感じとれる。AI の活用推進による取り組みを松江市も研究検討をすべきと考えるが見解を伺う。</p>				
2 AI (人工知能) の活用推進	<p>(1) 政府の未来投資戦略 2017 で最も重要視して取り組むと閣議決定され指定された項目が、健康寿命の延伸についてである。</p> <p>ア ①データ利活用基盤の構築②保険者・経営者によるデータを個人の予防・健康づくりに強化③遠隔診療、AI 開発・実用化④自立支援に向けた科学的介護の実現⑤ロボット・センサー等の技術を活用した介護の質・生産性の向上が明記されている。松江市・松江市立病院として、この政府の閣議決定に対してどのような見解を持っているのか。</p>				
3 健康寿命の延伸					



# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	宅野 賢治	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
3 健康寿命の延伸	イ 健康寿命の延伸を目指して市民の健康施策は松江市にとって重要な役割となるが、具体的な施策の現況と今後の取り組みについて伺う。				
4 公園の魅力化戦略と公共空間の有効活用	<p>(1) 公園の魅力化戦略と公共空間の有効活用の取り組みについて</p> <p>ア 公園利用者実態状況を把握し、その地域の意見を伺いながら、その地域に合っていれば遊び感覚で運動出来る健康遊具の設置を増やすなどについても考えていくべきではないか、見解を求める。</p> <p>イ 管理のみでなくパークマネジメントを進め、都市公園法の一部改正による新たな民間活力の導入を検討し、それぞれの地域にある公園の立地や特性を踏まえながら、トータルな街づくりと連携し魅力ある公園として機能強化に今一度取り組むべきと考える。</p> <p>そして、公園だけに限らないが松江市の公共空間を更に有効活用して、賑わいのある街づくりを創出しての取り組みを戦略的に仕掛けていくべきと考えるが見解を伺う。</p>				
5 民泊に対する考え方、ルールづくりと具体的な取り組み	<p>(1) 松江市の「民泊」に対する考え方・ルールづくりと具体的な取り組みについて</p> <p>ア 「民泊」に対する松江市の基本的スタンスをどうお考えなのか伺う。</p> <p>イ 民泊新法が成立し国際文化観光都市松江市として、「民泊」が松江らしい良質な宿泊サービスとなるためにも、松江市独自の「民泊」に係るルールの構築が必要だがどのような考えなのか、今後の具体的な取り組みについて見解を伺う。</p> <p>ウ 松江市は、松江市まち・ひと・しごと創生第 1 次総合戦略で、新規事業として外国人旅行者向けの古民家民泊事業を掲げていたが現況もあわせ伺う。</p>				
6 個人情報保護法改正による市の取り組み	<p>(1) 5 月 30 日個人情報保護に関する法律、個人情報保護法が改正施行されたが、改正に伴う本市の対応取り組みを伺う。</p> <p>小規模取扱事業者へも、改正施行後は、適用されることとなり、中小企業など営利団体だけでなく、他団体にも対応が求められる。それぞれの団体に対して、法改正の趣旨、内容の解説、個人情報取り扱い規則雛形の提供など松江市の各関係部局はどのような対応の取り組みをされているのか伺う。</p>				
7 女子高校の将来像と具体的魅力化	<p>(1) 松江市立女子高校の今後の将来像の方向性と具体的魅力化について</p> <p>市長の所信表明においても、「松江市立女子高校魅力化検討プロジェクト」の提言のもとに具体的な魅力化を進め松江の将来を担う女性リーダーの育成を図るとされている。提言のもとに具体的な魅力化とはどのような考えなのか。</p> <p>今後の松江市立女子高校の将来像を考えての新たな学校運営を、基本的にどう考え、具体的内容としてどのような魅力化を講じて進めていく考えなのか伺う。</p>				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	1 2	議員名	三島 伸夫	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨					
1	中核市移行について	(1) 中核市移行への今年度の進捗状況 (2) 今年度の条例の制定・改定の概要 (3) 30 年度での窓口開設や変更の見通しと問題点 (4) 中核市移行にともなう小中学校の教員の人事権移譲の考え方と見通しについて				
2	松江市の水について	(1) 宍道湖・中海の湖水の環境改善の状況、併せて宍道湖水環境改善協議会・中海会議の取り組み状況について (2) 堀川等、松江市の水環境の状況 (3) 本年夏の藻・水草の発生について、藻刈り量・動員数等の状況報告、藻等の発生原因・今後の見通し (4) 国・県との河川管理の費用負担について				
3	小中学校のエアコン整備について	(1) 松江市の公立小中学校のエアコン設備状況 (2) 来年度以降の設置計画 (3) 設置の為の予定金額の見積もり				
4	町内会加入促進について	(1) 松江市の現在の町内会・自治会の加入状況 (2) 都市部・山間部等の地域格差の状況 (3) 町内会加入促進向上への取り組み実績・効果 (4) 今後の方針				

順序	1 3	議員名	野津 直嗣	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨					
1	松江城から見る・松江城から見える景観について	(1) 松江城から望む景色、また松江城を望む景色についての高さ規制等も含めて、さらに一步踏み込む時期に来ているのではないかと。松江らしい風景を残していく事が観光はもちろん、定住にもつながっていくと考えるがいかがか。				
2	地域拠点の具体的な支援策、また中心市街地の活性化について	(1) 旧町村地域などの旧公的施設等も含めた支援についての論理情報は整合されているか。 (2) 中心市街地の活性化について誘致 IT 企業やまちづくり企業等のまちなか進出を施策誘導してはいかがか。				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9 月 1 2 日
質問項目	質問要旨				
3 子どもたちの 安心安全を守る 未来政策につい て	(1) 0～3歳時のメディアデバイス接触は顕著である。この部分において行政もまた新しい一歩を踏み出す時期が来ている。乳幼児における電子デバイス接触に関する条例の提案制定を強く望むがいかがか。				
4 観光まちづく り政策の在り方 について	(1) 国際文化観光都市として、面的に、かつ見える化、いつ、どこで、だれが、何をして、それに行政はどうかかわっていくのか、という観光まちづくり全体のビジョンが見えない。観光まちづくりの基軸となる「観光まちづくり戦略計画」の早期策定を望むが見解を伺う。 (2) 観光客のリピーター対策が非常に不透明で、政策戦略体系化されていない、根源となる観光客のニーズ調査も行われていない。しっかりとした体制整備、観光まちづくり戦略計画などの進捗管理・政策の全体調整を行う観光政策課の創設を望むが見解を伺う。				
5 定住対策につ いて	(1) UI ターン事業の先鋭化については、大別すると「地域活性化型」と「ふるさと回帰型」があると考えている。双方ともに目的とニーズが違うが、後記する質問②③と連動連携して、先鋭的な事業・フレームづくりに取り組んではどうか。 (2) 「ふるさと回帰型」人材については定住セクション・企業セクションに関わるチームの総力戦だと考えている。そのチーム体制づくりを組んで頂きたい。そして来年度モデル事業の一つでもできるように挑戦してほしいがいかがか。 (3) 「地域活性化型人材」については、ふるさと島根定住財団とモデル事業を組み、地域キーマンへのプロフェッショナル相談事業を県へ提案して頂きたいがいかがか。 (4) 国際文化観光都市の松江市において、女子高・県大を出た夢ある若者の出口対策がまったくなされていない反面、地域の観光まちづくりの現場では地域まちづくり・観光の人材育成を必要とされていて、ミスマッチが生まれている。2019年4月の採用に向けて、雇用政策の得意な産業経済部と現場の観光振興部で、観光まちづくり人材創出に向けて、動いて頂きたいがいかがか。				
6 産業振興につ いて	(1) 地域課題と産業振興は密接にリンクしている。その中でも IT という手法は時間と量と効率を超えていく、地方にとっては唯一無二の地域課題解決手段の一つである。地域課題情報を持つ松江市、地域課題解決手段 (IoT) は ITOC、地域課題解決事例はふるさと島根定住財団が持っている。この3者が初となる共同プロジェクトを立ち上げて地域課題解決と産業振興・新産業の創出に向けてあらゆる可能性を検討して頂きたいがいかがか。				

# 一般質問通告事項【9月12日(火)】《2日目》

平成 29 年松江市議会 9 月定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	9月12日
質問項目	質問要旨				
7 松江市としてのシティプロモーションについて	(1) 松江市が選ばれるまちになるためには、情報の提供が必要である。現在は市民には市報、観光客には観光情報発信などしているが、定住してほしいひと、特に県外者向けの情報発信が欠損している。松江市のシティプロモーションをするべき時代に来ているが見解を伺う。				
8 庁舎の改築問題について	(1) 市庁舎改築に伴い、このエリアを一体的にまちづくりとして考える視点が必要である。末次公園も市役所の玄関としての公園等の機能を強化し、松江の最大の魅力地である宍道湖の水辺の傍という利点を生かし、ユニバーサルデザインとして考えていくべきだ。市民サービスが適正かつ効果的に行われるように、庁舎内内容はもちろん、外へのまちづくりの視点が必要である。ぜひ子育て世代もその会議に入れて頂くこともお願いするがいかがか。				
9 政策・施策の財源についての考え方について	(1) 松江市の事業が市単独で行われている事が多いのは、他部署間の情報連携不足や、国などの交付金概要資料等の「読み解き方」にも問題があると感じる。財源が限られている中で、地域課題や市民サービスを行っていかねばならない中で、連携・情報不足における財源的失策は許されなない。今後の体制づくりも、情報共有、施策連携も含めて改善策を今後、構築して頂きたいがいかがか。				
10 健康・福祉に関する人員及び体制について	(1) 業務遅延・トラブル・職員疲弊が起きる前に体制整備について質問をする。健康・福祉関連部の人員体制は、今後中核市移行に伴う業務量の肥大・移管後初期における業務混乱の可能性もある。また精神的な障がい者の方など対応者が増えている部署もあると見聞する。事務処理が増えている現況で、相談体制の強化・プロフェッショナル化・人員増など人員をしっかりと確保し、市民の皆さんの支援、職員の皆さんの健全な働き場として考えた上で、今一度、人員体制を構築してもらいたいと思うがいかがか。				